商品名　クラシエ当帰四逆加呉茱萸生姜湯エキス細粒 添付文書情報

一般名	当帰四逆加呉茱萸生姜湯エキス細粒	薬価	13.60
規格	1g	区分	
製造メーカー	大峰堂薬品	販売メーカー	大峰堂薬品 クラシエ薬品
薬効	5．生薬及び漢方処方に基づく医薬品 52．漢方製剤 520．漢方製剤 5200．漢方製剤		

クラシエ当帰四逆加呉茱萸生姜湯エキス細粒の組成・成分

1日量（7.5g）中

トウキ：3

ケイヒ：3

モクツウ：3

サイシン：2

ゴシュユ：2

カンゾウ：2

シャクヤク：3

ショウキョウ：1

タイソウ：5

以上のエキス粉末：4200mg

クラシエ当帰四逆加呉茱萸生姜湯エキス細粒の用法・用量

通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

クラシエ当帰四逆加呉茱萸生姜湯エキス細粒の効能・効果

手足の冷えを感じ、下肢が冷えると下肢または下腹部が痛くなり易いものの次の諸症：しもやけ、頭痛、下腹部痛、腰痛。

クラシエ当帰四逆加呉茱萸生姜湯エキス細粒の副作用

次の副作用があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止するなど適切な処置を行うこと。

1．重大な副作用：

1）偽アルドステロン症（頻度不明）：低カリウム血症、血圧上昇、ナトリウム貯留・体液貯留、浮腫、体重増加等の偽アルドステロン症があらわれることがあるので、観察（血清カリウム値の測定等）を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、カリウム剤の投与等の適切な処置を行うこと。

2）ミオパチー（頻度不明）：低カリウム血症の結果としてミオパチーがあらわれることがあるので、観察を十分に行い、脱力感、四肢痙攣・四肢麻痺等の異常が認められた場合には投与を中止し、カリウム剤の投与等の適切な処置を行うこと。

2．その他の副作用：

［1］過敏症：（頻度不明）発疹、発赤、そう痒等。

［2］肝臓：（頻度不明）肝機能異常（AST上昇、ALT上昇等）。

［3］消化器：（頻度不明）食欲不振、胃部不快感、悪心、下痢等。

クラシエ当帰四逆加呉茱萸生姜湯エキス細粒の使用上の注意

【重要な基本的注意】

1．本剤の使用にあたっては、患者の証（体質・症状）を考慮して投与すること。なお、経過を十分に観察し、症状・所見の改善が認められない場合には、継続投与を避けること。

2．本剤にはカンゾウが含まれているので、血清カリウム値や血圧値等に十分留意すること。

3．他の漢方製剤等を併用する場合は、含有生薬の重複に注意すること。

【合併症・既往歴等のある患者】

1．著しく胃腸虚弱な患者：食欲不振、胃部不快感、悪心、下痢等があらわれることがある。

2．食欲不振、悪心、嘔吐のある患者：これらの症状が悪化するおそれがある。

【妊婦】

妊婦又は妊娠している可能性のある女性には、治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ投与すること。

【授乳婦】

治療上の有益性及び母乳栄養の有益性を考慮し、授乳の継続又は中止を検討すること。

【小児等】

小児等を対象とした臨床試験は実施していない。

【高齢者】

減量するなど注意すること（一般に生理機能が低下している）。

【相互作用】

2．併用注意：カンゾウ含有製剤（芍薬甘草湯、補中益気湯、抑肝散等）、グリチルリチン酸及びその塩類を含有する製剤（グリチルリチン酸一アンモニウム・グリシン・L-システイン、グリチルリチン酸一アンモニウム・グリシン・DL-メチオニン配合錠等）、ループ系利尿剤（アゾセミド、トラセミド、フロセミド等）、チアジド系利尿剤（トリクロルメチア

ジド、ヒドロクロロチアジド、ベンチルヒドロクロロチアジド等）［偽アルドステロン症があらわれやすくなり、また、低カリウム血症の結果として、ミオパチーがあらわれやすくなる（グリチルリチン酸及び利尿剤は尿細管でのカリウム排泄促進作用があるため、血清カリウム値の低下が促進されることが考えられる）］。

【取扱い上の注意】

1．本剤の品質を保つため、できるだけ湿気を避け、直射日光の当たらない涼しい所に保管すること。

2．開封後は特に湿気を避け、取扱いに注意すること。

3．本剤は生薬を原料としているので、色調等が異なることがある。

【保管上の注意】

室温保存。

薬学をはじめとする専門知識と情報処理技術が実現する高い信頼性と豊富な情報量
医薬品データベースの決定版 『 DIR 』
Drug Intelligence Reinforce

Copyright© 2005-2025 e-pharma All rights reserved.